

小中連携チェックリスト

～確かな学力の育成を目指して～

児童生徒に小・中学校の学習内容を確実に身に付けさせ、望ましい学習習慣や生活習慣を定着させるためには、小・中学校の教職員が義務教育9年間の教育活動を理解し、系統性を確保した一貫した指導を行うことが大切です。

道内外の先進事例も踏まえ、小・中学校が連携した取組を進める上で求められる事項を、①教員研修、②体制整備、③指導計画、④指導方法・指導形態の4つの視点から、チェックリストとしてまとめました。

本チェックリストを活用し、新たに取組むべき事項やさらに充実すべき事項を明らかにし、小・中学校が連携した取組を充実してください。

①教員研修

- 義務教育9年間で児童生徒に育成したい力を明確にし、小・中学校間で共有しているか。
- 学力にかかわる共通課題等を明らかにし、小・中学校間で共有しているか。
(全国学力・学習状況調査やC R T検査、チャレンジテスト等の結果を分析)
- 小・中学校間で共通の研究主題、目指す児童生徒像、授業像を明確にし、共有しているか。
 - 9年間の系統性を明らかにした学習規律に関する指導
 - 9年間の系統性を明らかにしたノート指導
 - 9年間の系統性を明らかにした板書の在り方
- 小中合同の研修会を計画的、継続的に実施しているか。
- 小・中学校それぞれの指導の特徴やよさを互いに交流する機会を設定しているか。
- 成果を検証する方法を明確にし、小・中学校間で共有しているか。
 - 全国学力・学習状況調査やC R T検査、チャレンジテスト等の結果の推移を分析するなど、具体的に成果を検証
 - 教職員、児童生徒、保護者等へのアンケート結果の推移等を分析し、成果を検証

②体制整備

- 小・中学校間で、互いの学校教育目標を理解しているか。
- 義務教育9年間の系統性を明らかにして学校教育目標を見直しているか。
- 小・中学校間の乗り入れ授業や、小学校における教科担任制などの具体的な取組を進めるための体制を整備しているか。
- 小中合同の委員会等を設置しているか。
 - 定期的な開催
- 学力向上に資する小中連携の取組を学校運営計画や学校改善プランに位置付けるなど、学校経営の重点としているか。
- 担当教員や研修担当教員など関係教員間で、定期的に協議等を行う機会を設定しているか。
- 取組状況をホームページに掲載しているか。
- ホームページの相互リンクを行っているか。

③指導計画

【Plan】

- 義務教育9年間の系統性を明らかにした指導計画を協力して作成しているか。
 - 系統性を明らかにした年間指導計画の作成
 - 小学校第6学年と中学校第1学年の系統性を明らかにした年間指導計画の作成
 - 系統性を明らかにした指導内容の系統表の作成
 - 系統性を明らかにした単元配列一覧表の作成
- 年間指導計画に個に応じた指導を位置付けているか。
 - 振り返り学習や繰り返し指導
 - 補充的な学習や発展的な学習
 - ティーム・ティーチング
 - 習熟の程度に応じた指導

【Do】

- 義務教育9年間の年間指導計画に基づき、実践を行っているか。

【Check】

- 義務教育9年間の年間指導計画を実践に基づき評価しているか。
- 年間指導計画を評価する観点を明らかにしているか。
- 年間指導計画の評価結果を小・中学校間で共有しているか。
- 全国学力・学習状況調査やC R T 検査、チャレンジテスト等の結果を活用し、具体的に指導計画の検証を行っているか。

【Action】

- 評価結果に基づき、年間指導計画を改善しているか。
- 義務教育9年間で児童生徒に育成したい力を明確にし、小・中学校間で共有しているか。

④指導方法・指導形態

- それぞれの学校種によさを生かした授業を計画的、継続的に実施しているか。
 - 中学校教員の専門性を生かした小学校への乗り入れ授業
 - 小学校教員による中学校でのティーム・ティーチングなど少人数指導の支援
- 小・中学校教員相互の乗り入れ授業の効果を検証しているか。（全国学力・学習状況調査やC R T 検査、チャレンジテスト、アンケート等の結果を活用し、具体的に検証）
- 小学校における教科担任制を導入しているか。
 - ※小学校用 小学校で教科担任制を導入する教科への中学校教員の専門性の活用
 - 一部の教科や重点とする内容にかかわる単元
 - 加配教員や専科教員の活用
 - 学年内教科担任制の実施
 - 学年や学年ブロック内での交換授業
- 小学校における教科担任制による授業の効果を検証しているか。（全国学力・学習状況調査やC R T 検査、チャレンジテスト、アンケート等の結果を活用し、具体的に検証）
- 乗り入れ授業や教科担任制を円滑に推進するため、時間割や日課表を工夫しているか。
- 個に応じた指導を充実するための体制を整備しているか。
 - ティーム・ティーチング
 - 加配教員による指導
 - 習熟の程度に応じた指導
 - 放課後や長期休業中の補充的な学習サポート
- 全国学力・学習状況調査やC R T 検査、チャレンジテスト等の結果を活用し、具体的に成果の検証を行っているか。